

概要

仕様

- 新築工事 → ○○○○○○○○
新築工事

- ・ 工種毎にページがリセットされます（工種が変わる度に1ページにからになります）
（差し替えがあった時、工種単位の交換で済みます）

インストール・アンインストール

※Windows11 では、インストールまたは、実行時に「スマートアプリコントロールによってこのアプリがブロックされました」とメッセージが表示されアプリが起動しない場合があります

その場合以下の手順でスマートアプリコントロールを解除できます

1. ブロックされた .exe ファイルを右クリックし、「プロパティ」を開きます
2. 「全般」タブの一番下にあるセキュリティ項目を確認します
3. 「許可する」（またはブロックの解除）というチェックボックスにチェックを入れます
4. 「OK」 をクリックします

上記の方法で解除できない（「許可する」チェックボックスが表示しない等）時は、以下の方法をお試してください

（安全性が確認できないアプリの自動ブロックが解除されるため、自己責任での注意が必要です）

1. 「スタート」メニューを開き、「設定」（歯車マーク）をクリックします
2. 左側メニューの「プライバシーとセキュリティ」を選択し、「Windows セキュリティ」をクリックします
3. 「アプリとブラウザーの制御」（またはアプリとブラウザー コントロール）をクリックします
4. 画面上部にある「スマート アプリ コントロールの設定」リンクをクリックします
5. 「オフ」を選択します
6. 警告画面が表示されたら、「それでも続行する」をクリックします
7. ユーザーアカウント制御（UAC）のポップアップが出た場合は、「はい」をクリックします

・ インストール方法

解凍したフォルダを任意の場所に配置してください

フォルダ内の[工事写真台帳_0000000000.exe]（0000000000 はバージョン番号）

を実行してください

・ アンインストール方法

インストール時に任意の場所に配置したフォルダを削除してください

作成時の注意事項

- ・フォルダ名が、工事写真台帳内に使用される文字となります
- ・Windows ファイル名の規則やコントロールコード（最初のアンダーバーより前の文字列）として半角文字を使用する為、ファイル名に使用できない半角文字が存在するので、フォルダ名には、基本的に全角（コントロールコード以外）で登録します
- ・撮影日時は、画像ファイルの Exif 情報（画像ファイル内の撮影情報）より取得する為、Exif 情報の無い画像ファイルでは表示しません
- ・マニュアルに付属の見本の写真はモノクロ写真を使用しています

インフォメーション isi.support.pg@gmail.com

履歴

2026/08/20	SoftVer. 2026082001 版	pyinstaller オプションを onefile → onedir に変更 修正アップデート
	ManualVer. 20260820 版	スマートアプリコントロールの対応を追加 onefile → onedir に変更に伴う変更
2026/08/03	2026080301 版	修正アップデート
2026/08/02	2026080201 版	修正アップデート
2026/08/01	2026080101 版	公開初版
2026/06/03	再作成	作り直し
2026/03/22	20260322 β 版	初版
2026/03/15	20260315 α 版	初版
2025/11/30	20251130 テスト版	初版

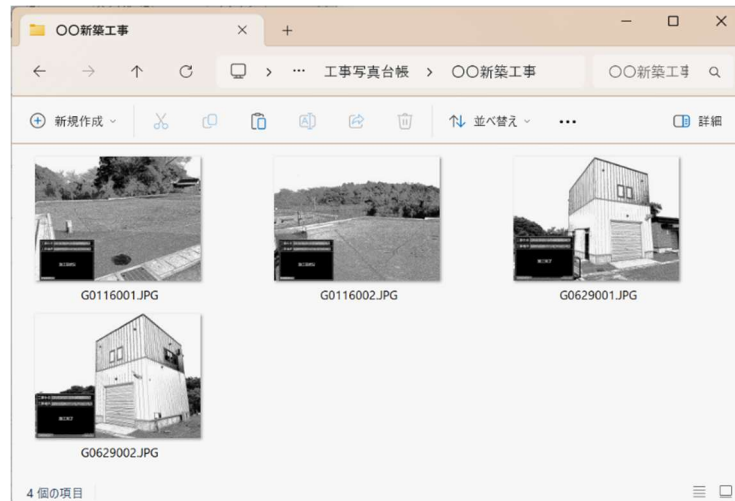
目次

- [基本的な使い方](#)
- [工種名がある時](#)
- [工種・写真の並び順を指定したい時](#)
- [工事写真台帳に取り込まない不要な画像ファイルの扱い](#)
- [施工内容を表示したい時](#)
- [施工内容を表示したいが工種が不要な時](#)
- [おまけの機能](#)
 - [バックアップファイルの作成](#)
 - [バックアップファイルの解凍](#)
 - [ファイル名に撮影日時を付加](#)
 - [写真に工事看板を付加する](#)

01 基本的な使い方

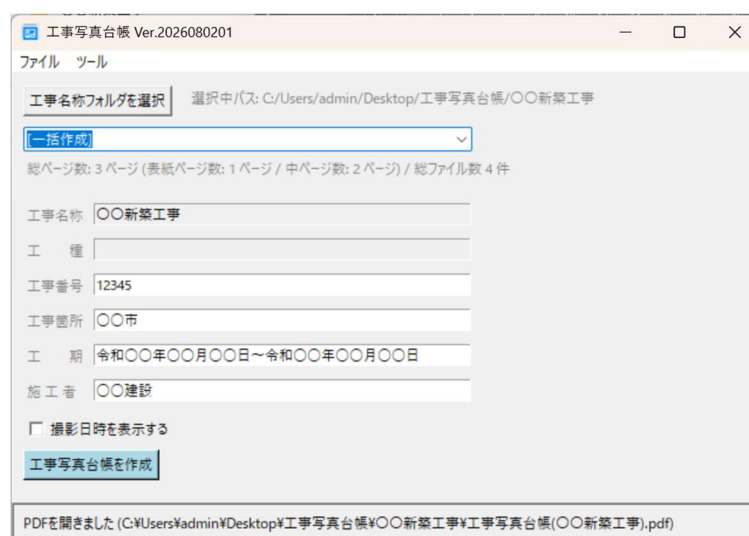
①工事写真をフォルダに分類分けします

1. 工事名称のフォルダを作成します
2. そのフォルダの中に写真を入れます

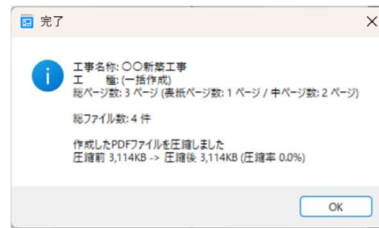


②ソフトを起動し工事写真台帳を作成します

3. [工事名称フォルダを選択]ボタンをクリックし工事名称フォルダを選択します
4. ドロップダウンリスト[工種を選択してください]から[一括作成]を選択します
(ドロップダウンリストの下に総ページ数・総ファイル数が表示されます)
5. 必要に応じて、[工事番号]・[工事箇所]・[工期]・[施工者]を入力し[撮影日時を表示する]のチェックボックスの入力をします
6. [工事写真台帳を作成]ボタンをクリックします



7. 作成が完了するとメッセージボックスが表示します

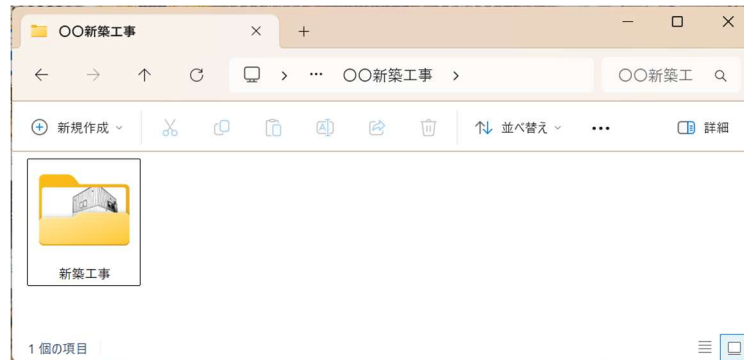


8. [OK] ボタンをクリックすると、完成した PDF を既定のソフト表示します

02 工種名がある時

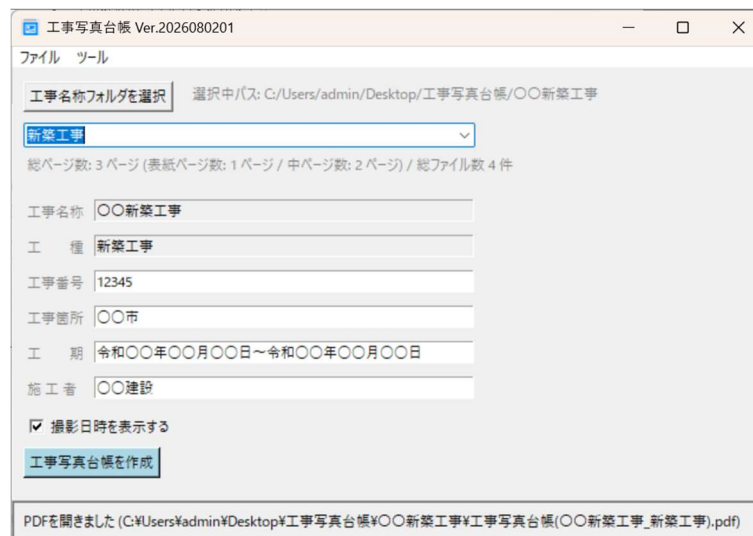
①工事写真をフォルダに分類わけします

1. 工事名称のフォルダを作成します
2. そのフォルダの中に工種のフォルダを作成します
3. そのフォルダの中に写真を入れます



②ソフトを起動し工事写真台帳を作成します

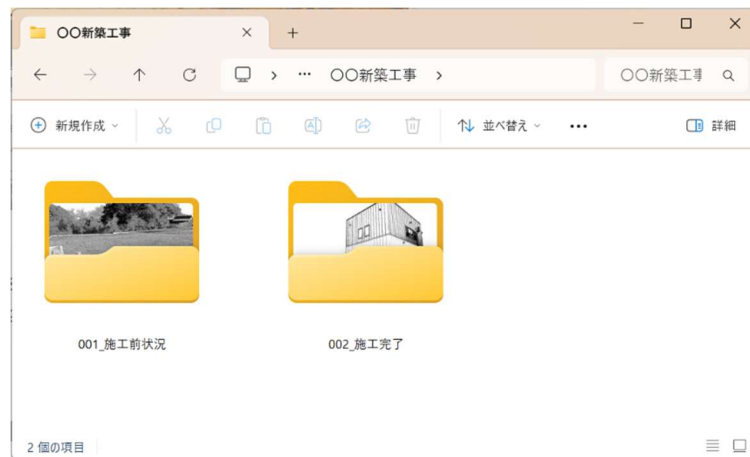
4. [工事名称フォルダを選択] ボタンをクリックし工事名称フォルダを選択します
5. ドロップダウンリスト[工種を選択してください]から[一括作成]または、工種フォルダ名を選択します
(ドロップダウンリストの下に総ページ数・総ファイル数が表示されます)
6. 必要に応じて、[工事番号]・[工事箇所]・[工期]・[施工者]を入力し[撮影日時を表示する]のチェックボックスの入力をします
7. [工事写真台帳を作成] ボタンをクリックします



8. 作成が完了するとメッセージボックスが表示します
9. [OK] ボタンをクリックすると、完成した PDF を既定のソフト表示します

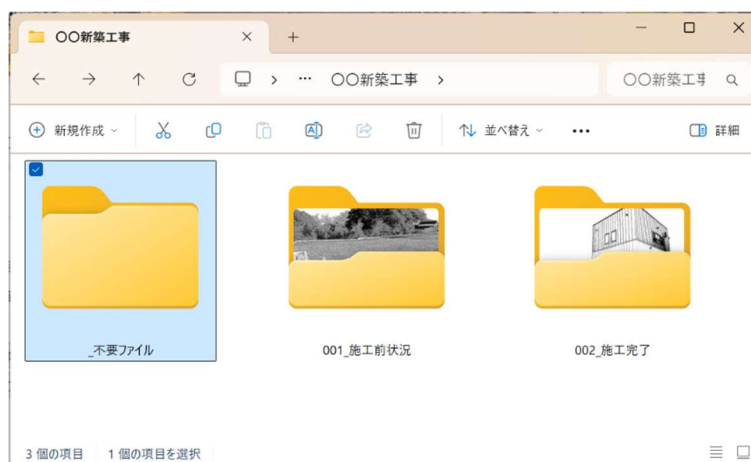
03_工種・写真の並び順を指定したい時

- ・工種・写真の並び順は、フォルダ名・ファイル名の並び順になります
(並び順にフォルダ・ファイル名の区別はないので、並べたい順に名前を付けます)
- ・フォルダ・ファイル名の最初の _ (半角アンダーバー) までの文字は表示されないので、フォルダ・ファイル名の前に並べたい順番に番号を振り、フォルダ・ファイル名との間に _ (半角アンダーバー) で区切ります
例. G0112001. jpg → 0001_G01120001. jpg



04 工事写真台帳に取り込まない不要な画像ファイルの扱い

- ・フォルダ名の先頭に _ (半角アンダーバー) のついたフォルダは、工事写真台帳には取り込まれないのでそのフォルダに不要なファイルを入れます 例: _不要ファイル
- ・また、JPEG 形式ファイル(.jpg, .jpeg)・HEIC 形式ファイル(.heic) 以外のファイルは、工事写真台帳には取り込まれません



05 施工内容を表示したい時

①工事写真をフォルダに分類わけします

1. 工事名称のフォルダを作成します
2. そのフォルダの中に工種のフォルダを作成します
3. そのフォルダの中に施工内容のフォルダを作成します
(工種フォルダ以下のフォルダはすべて施工内容フォルダとなり 工事写真台帳の施工内容に追加していきます)
4. そのフォルダの中に写真を入れます



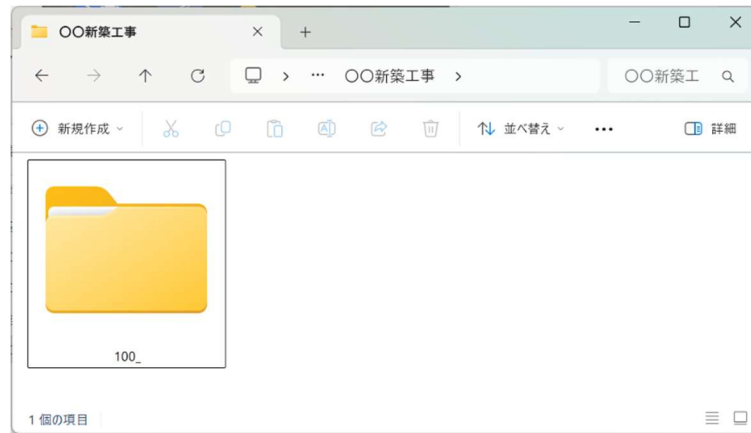
②ソフトを起動し工事写真台帳を作成します

5. [工事名称フォルダを選択]ボタンをクリックし工事名称フォルダを選択します
6. ドロップダウンリスト[工種を選択してください]から[一括作成]または、工種フォルダ名を選択します
(ドロップダウンリストの下に総ページ数・総ファイル数が表示されます)
7. 必要に応じて、[工事番号]・[工事箇所]・[工期]・[施工者]を入力し[撮影日時を表示する]のチェックボックスの入力をします
8. [工事写真台帳を作成]ボタンをクリックします

9. 作成が完了するとメッセージボックスが表示します
10. [OK] ボタンをクリックすると、完成した PDF を既定のソフト表示します

06 施工内容を表示したいが工種が不要な時

工種フォルダの名前を 100_ の様に、並び順の後に _（アンダーバー）を付与しフォルダ名のないフォルダを作成します 例： 100_



07 おまけの機能

・バックアップ機能

Windows の標準機能で 2GB を超える zip ファイル(zip ファイル内のファイルサイズ 4GB 以上)を扱うことができないので作成しました。

①バックアップファイルの作成

1. [工事名称フォルダを選択]から工事名称フォルダを選択します
2. [ファイル]-[バックアップファイルの作成]をクリックします
3. 工事名称フォルダと同一フォルダに 工事写真台帳_Backupfile_(工事名称).zip ファイルが作成されます

②バックアップファイルの解凍

1. 解凍したいフォルダにバックアップファイルをコピーします
2. [ファイル]-[バックアップファイルの解凍]をクリックします
3. バックアップファイルが解凍します

・ファイル名に撮影日時を付加

1. [工事名称フォルダを選択]から工事名称フォルダを選択します
2. [ツール]-[ファイル名に撮影日時を付加] をクリックします
3. 選択フォルダ内のファイルの先頭に yyyyymmddHHMMSS[] {}_ の文字列が付加します（先頭文字列が yyyyymmddHHMMSS の時は、付加しません）

yyyy 年 mm 月 dd 日

HH 時間 MM 分 SS 秒

撮影日時は、Exif の撮影日時 → ファイルの作成・更新日時で古い日時で付加するので合っている保証はありません

- ・写真に工事看板を付加する（看板を入れ忘れた又は、普通にとった写真に看板を差し込みます）
写真に看板を付ける時は、フォルダ名・ファイル名に以下のコントロールコードを付加します

コントロールコード（ファイル名の最初のアンダーバーより前の文字列）の説明

※フォルダ名（工事名称フォルダを除く）に付加した場合そのフォルダ以下全てに有効です
ファイル名に近い下位のフォルダのコントロールコードが優先されます

000[配置文字]{}_フォルダ名 ・ 000[配置文字]{}_ファイル名.jpg

000 並び順を表す文字列で何桁でも大丈夫です

（写真の枚数等で桁数を決めてください）

※桁数を揃えないとうまく並ばないので注意してください

1_ファイル名.jpg		01_ファイル名.jpg
10_ファイル名.jpg	→	02_ファイル名.jpg
2_ファイル名.jpg		10_ファイル名.jpg

※最後の一桁を0にしておくと並び替えがしやすいです

010_ファイル名.jpg		010_ファイル名.jpg
020_ファイル名.jpg	→	015_ファイル名.jpg
		020_ファイル名.jpg

配置文字

工事看板をどの位置に配置するか決めます

[RT] 又は [TR] 右上寄せ (Right Top)

[RB] 又は [BR] 右下寄せ (Right Bottom)

[LT] 又は [TL] 左上寄せ (Left Top)

[LB] 又は [BL] 左下寄せ (Left Bottom)

上記の文字以外では看板が付きません（小文字でも大丈夫です）

{}

工事看板が付いた時、工事看板内の文字の配置を決めます

{{ 又は {{ 左寄せ

}} 又は }} 右寄せ

それ以外は、中央寄せです（記載しなくても大丈夫です）

例。工事名称フォルダ

| -001[lb]_工種名称 1

左下看板あり文字中央寄せ

| | -001[]{}_施工内容 1

看板なし文字中央寄せ

| | | -001[rb]{{_画像ファイル 1.jpg

右下看板あり左寄せ

この場合 ファイルに書かれたコントロールコード（右下看板あり左寄せ）が有効になります